

## ARCO

植物細胞と植物胎座 -再活性化と皮膚の再生-

### ARCO PP TSR

薬品や化粧品の調合のための動物胎盤抽出の利用は、ここ数十年で、十分に文書化され、証明されてきた。スイス、アメリカ、ドイツの科学者が、動物胎盤に取って代わる植物の代替物を数年間調査してきた。90年代中頃、科学者達は穀物のふすまが、動物の胎盤抽出を代用することが可能な細胞代謝活性抽出を実現できることを見出した。

動物由来の物質を、植物の類似物質により代用する臨床研究や臨床実験も行われ、例としては、ライ麦、小麦、オート麦のような穀物に由来する植物胎座による羊の胎盤の代替が上げられる。植物胎座の抽出物は、動物の胎盤と同様に、細胞代謝活性を増加させることが可能であることが明らかになった。

2009年11月、Arco スイス・インターナショナル・カスタムと提携しているアメリカの bioDYNE Labs 社にて、薬剤の研究開発に携わるパイオニア達が、薬用化粧品に含まれる植物胎座を考案した。新しく考案された植物胎座は、合衆国薬局方国民医薬品集の適用仕様書に基づき、アメリカで調査、開発、製造され、” ARCO total skin rejuvenation”として知られている。

” ARCO total skin rejuvenation (植物胎座)” または略して” ARCO PP”は、FDA (米国食品医薬品局) に登録された最先端技術と cGMP 準拠のアメリカの研究所を使用して、正当なプロセスに沿って製造される。このプロセスは、温度と湿度の制御下で、特定分子を選別してその有効性を確保するため、高性能の限外ろ過設備で実施される。製造段階は、高品質で生物活性のある製品を確保するために、米国薬局標準に準拠して行われる。製品は、特許権を有する組み換え (バイオ) 技術によって製造され、動物やヒトの細胞は含まれていない。

### 推奨される使用法

各ボックスは、10×4ml のバイアルから成り、顔面の領域で化粧品として使用するか、週に 2 回あるいは 3、4 日に 1 回の割合で、筋肉に注入する。留意すべきは、各バイアルの正確な内容量は 4.4ml で、そのうちの 0.4ml は注入時における溶液の損失を補填するためのものである。

製品名 : ARCO PP Total Skin Rejuvenation

ARCO スイスインターナショナル用のみを製造

明細：

“ARCO PP Total Skin Rejuvenation”は、正当な処方で、科学と自然の良い部分を結びつけた。本製品は cGMP に準拠したアメリカの研究所で天然成分のみを使用して作成され、動物やヒトの細胞は含まない。

副作用：

重大な副作用は報告されていない。

保管：低温で乾燥した所に保管する。使用しない時、容器は密封する。

危険性

無害ー（有害化学物質コードを参照）

#### 物理的性質／特性

外観：澄んだ水状の液体

臭い：軽い硫黄臭、すえた臭い

味：すっぱく苦い味

引火点（℃）：不燃性

比重（20℃）：1.01

可燃限界（％）：無関係

沸点（℃）：101℃

水溶性（g/L）：溶解する

溶解性（水以外）：アルコールやグリコールにはいくらかでも溶解する

pH（20℃）：6.8～7.1

#### 成分

成分表を参照

#### 健康への影響

飲み込み： 無害。不快感が生じる可能性有り。

眼： 無害。不快感が生じる可能性有り。すぐに水で流すこと。

皮膚： 無害。不快感が生じる可能性有り。石鹼で洗うこと。

吸い込み： 無害。不快感が生じる可能性有り。

#### 応急処置

飲み込み： 無害。不快感が生じる可能性有り。

眼： 無害。不快感が生じる可能性有り。すぐに水で流すこと。

皮膚： 無害。石鹼で洗うこと。

吸い込み： 無害。新鮮な空気を吸うこと。

医者への助言： 症状を改善させること。

#### 使用上の注意

暴露基準： 無害

工学的制御： この物質は無毒、無害のため、特別な換気は不要

個人的な防御手段： アミノ酸に過敏で無い場合は、不要。手袋と眼の保護を推奨。

### 製品安全データシート(2)

#### 保管及び輸送

##### 保管

密封された容器で、環境を制御して保管。

##### 輸送

製品は無害

制限：無し

#### 流出と廃棄

##### 流出

特に必要な措置は無し。製品は無毒で、100%生分解する。水路に入った場合も無害。色が付く可能性有り。

##### 大量流出

特に必要な措置は無し。標準物質取り扱い設備。

##### 廃棄

地域や州の法令を遵守し、廃棄すること。

#### 火災／爆発の危険性

##### 危険性

有害化学物質(Hazchem)コード: 関連無し

##### 小規模火災

粉末薬品、二酸化炭素、水噴霧のいずれかを使用する

##### 大規模火災

粉末薬品や二酸化炭素の使用が、泡式消火器や水噴霧の使用よりもベター。

この製品安全性データシートや健康、環境に関する情報を含めたすべての情報は、正確には上述の発行日に我々が知り得る限りの知識に基づくものである。しかし、本データシートを含むデータおよび情報の正確性あるいは完全性を保証あるいは表現、含意するものではない。本データシートで示された健康や安全に関する注意事項や環境上のアドバイスは、すべての個人あるいはすべての状況において、適切であるとは限らない。本製品の使用、使用上の判断およびすべての適用法令を準拠することは、ユーザー個人の責に帰すものである。BioDYNE Labs Inc. は、製品の通常以外の方法での使用、推奨方法に従わない使用、あるいは物質本来の危険特性などが原因で生じた、いかなる負傷、損失、損害に対しても、責任を負わない。